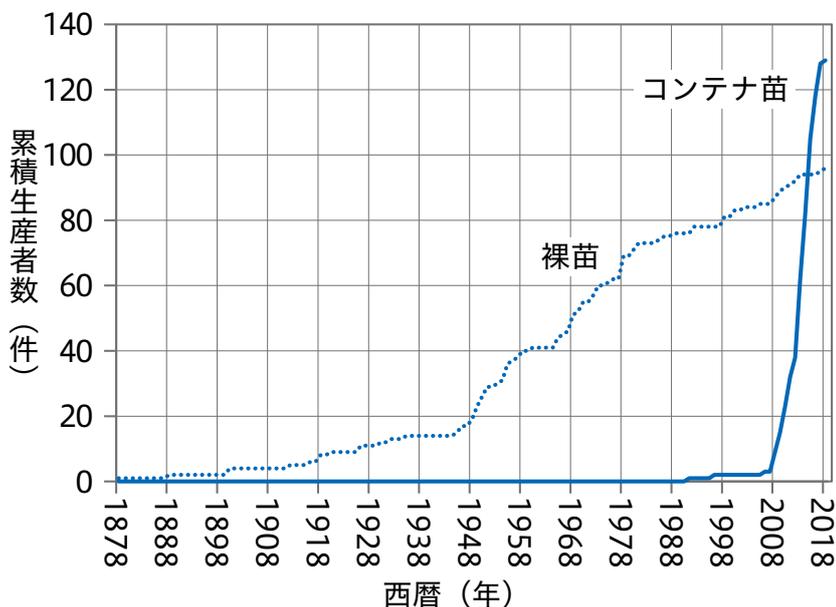




ポイント

生産者の大半は少人数経営、小規模生産

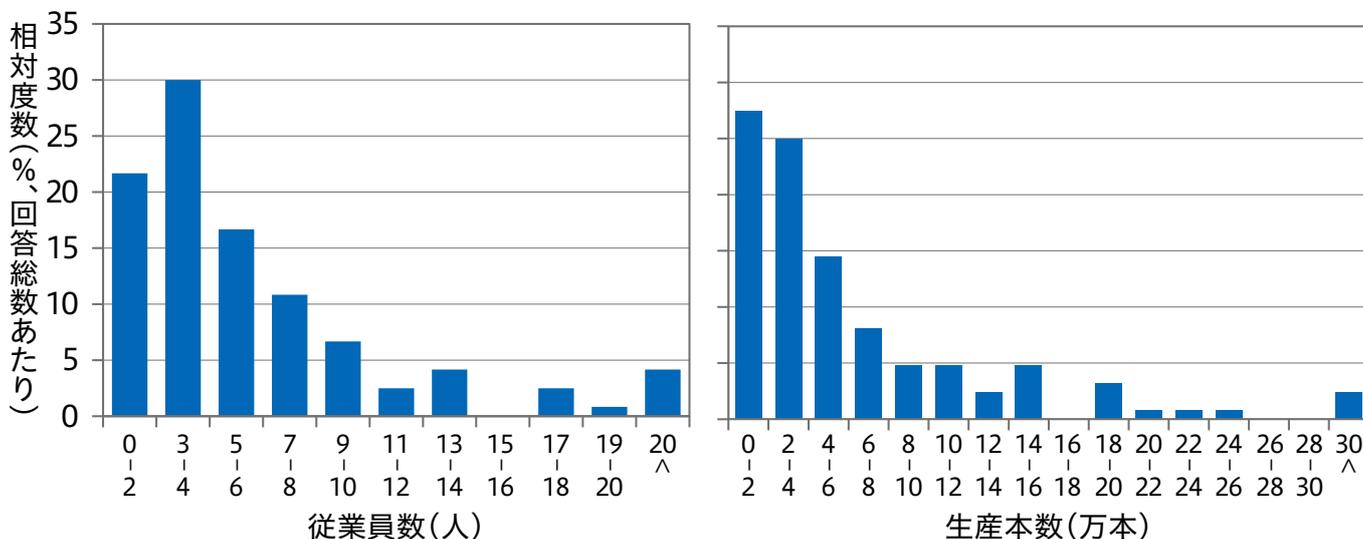
コンテナ苗生産者におけるコンテナ苗および裸苗の生産開始年



回答を得たコンテナ苗生産者のうち、裸苗生産の開始時期は、最も古いもので明治期でした。

裸苗生産者数は1945年以降ほぼ一定の割合で増加したのに対し、コンテナ苗生産者数は2008年から急激に増加しました。

従業員数(左)と年間のコンテナ苗生産本数(右)の頻度分布



従業員には常勤と非常勤を含みます。

非常勤を含む従業員数が4人以下の生産者が全体の5割を占め、少人数で苗木を生産する生産者が多いという結果でした。

コンテナ苗の生産本数では、4万本以下の生産者が全体の5割を占め、10万本を超えて生産する生産者は全体の2割にとどまりました。

注) 相対度数：有効回答総数に対する各階級の件数の割合。